

加賀藩祖・前田利家なりきり行列



城址 小丸山公園活かし隊

開催概要

- 目的 子供たちに遊びを通して、前田利家が築城した公園と古い街並みを知ってもらおう。
そして、魅力ある場所にする事で何度も訪れたい公園を目指す。
- 開催日 平成 26 年 11 月 3 日（月・祝）
- 場 所 御祓公民館、小丸山城址公園
- 対 象 小学生以下 12 人（主に園児）、保護者 13 人

小丸山城址公園の概要

天正 9 年（1581）加賀藩祖・前田利家が能登一国 24 万石の大名になる。現在の地に小丸山城を築城。

大正 9 年 4 月 1 日（1920）に小丸山公園と命名し、平成 26 年 4 月 1 日に小丸山城址公園に名称変更。

桜の名所として親しまれているが、それ以外の時期は来園者が少なく、園内は寂しい状況。



前田 利家

経 緯（今回のイベントを開催する理由）

平成 21 年度（補助対象）から平成 23 年度にかけて、小学生に対し公園の授業を実施した。しかし、児童は歴史に対して十分な興味を持ってくれなかった。その理由は、普段の歴史授業と変わらないため、学習意欲が低かったと思われる。

そこで、この課題を踏まえて「楽しみながら歴史を学ぼう」と考え、当該イベントを実施した。



公園での授業（平成 21 年度）

内 容

加賀藩祖・前田利家が愛用していた黄金の鎧兜をダンボールで再現。親子でダンボール鎧兜を作って着用し、町なかと公園を練り歩いた。

また、前田利家や古い街並みが残る昔と今の写真を見せながら七尾の歴史を紹介した。

対象は、小学生以下（主に園児）のため七尾の古い街並みや前田利家を知ってもらうことを主眼に置いた。

開催の流れ

ダンボール製の黄金の鎧兜を親子で作った。普通の鎧兜は、黒色だが前田利家のものだけ金色をしている。このため子供たちは、明るい色をしているものに手を取って興味を示していた。



完成後は、小丸山城を築城した前田利家や城下町である町なかの昔と今の写真を見せて、移り変わりを説明した。



完成後、子供たちは鎧兜を着用し、出発前に「出陣じゃー」と全員で号令。

行列を作って町なかを練り歩き、公園まで移動。

園内では、前田利家とまつの像の前で記念撮影後、初代城主であった前田利家を説明した。

最後は、子供たちが「エイエイオー」と勝どきをあげた。（表紙写真のとおり）

町なかを練り歩きながら集合場所にもどり、解散した。



全体写真のパネル展示



平成 26 年 12 月設置

事業の成果

園児たちは、イベントを通して加賀百万石を築いた前田利家とその出世城である公園を認知した。また、前田利家着用の黄金の鎧兜も記憶に残った。

そして、郷土の町や公園の魅力を感じてくれることが出来た。

課題

保育園児が多く参加していたため、歴史を十分に理解できていなかった。楽しいイベントとして終わった感じがあった。

このため、小学校高学年を対象にした記憶に残るイベントが必要と分かった。

一過性ではなく継続した取り組みが必要。次回は、地域の大人を巻き込んだ活動を企画する。

